

スマート農業実証プロジェクト
国際競争力強化技術開発プロジェクト
中山間地域のスマート放牧現地シンポジウム 2023 in 山口
開催要領

1. 趣旨

放牧を取り入れた畜産は、低コストでの農地の維持と収入の確保が期待できることから、中山間地域において注目されている。特に山口県においては「山口型放牧」と呼ばれる先進的な取り組みが行われ成果を上げてきた。

本シンポジウムは、スマート農業実証プロジェクト（R4—5）「荒廃農地の再生による環境保全効果と生産性の高いスマート放牧体系の実証」事業、および国際競争力強化技術開発プロジェクト（R3—R5）「和牛肉の輸出拡大に向けたスマート放牧による素牛増産技術の開発」事業の情報発信として、中山間地域における荒廃農地を放牧地へと再生化する方法と、その後の ICT 技術を活用した放牧管理技術について紹介と説明を行う。また、先進事例である山口型放牧とスマート放牧に関する情報と意見の交換を行う。午前の部では、会場内でスマート機器等についての説明を実施し、午後の部では山口県農林総合技術センター内圃場において紹介したスマート機器の実演を行う。

2. 運営

共催：農研機構 西日本農業研究センター
農研機構 畜産研究部門
山口県農林総合技術センター
西日本スマート放牧コンソーシアム
スマート放牧コンソーシアム

3. 開催日時

令和5年5月16日（火曜日）

技術説明会：10:00～11:45

現地実演会：13:45～15:40

現地実演会は小雨決行（荒天中止）、技術説明会は天候にかかわらず開催。

現地実演会中止の場合、前日の16時までに申込時のメールアドレス宛にご連絡いたします。

（バス移動は新山口駅前13:00発、13:45現地駐車場着予定

現地駐車場16:05発、16:50新山口駅前着予定）

4. 開催場所

午前の部：技術説明会：山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホール 2F 会議室 205

(〒754-0041 山口県山口市小郡令和1丁目1-1)

午後の部：現地実演会：山口県農林総合技術センター 畜産技術部

(〒759-2221 山口県美祢市伊佐町河原1200)

(技術説明会会場と現地実演会会場までの移動手段として、バスを用意します。)

5. 参集範囲

農林水産省、地方公共団体、JA、農業生産者、農研機構、荒廃農地解消や放牧に関心のあるもの

6. 内容

午前の部：技術説明会 (web 配信有り)

- 1) 開会挨拶 (10:00~10:05)
スマート農業実証プロジェクト 畜産体系責任者
国際競争力強化技術開発プロジェクト 統括研究リーダー
(農研機構畜産研究部門 所長) 三森眞琴
- 2) 趣旨説明 (10:05~10:10)
農研機構西日本農業研究センター 上級研究員 平野 清
- 3) 話題提供 (10:10~11:40)
 - (1) 山口型放牧のこれまでの取り組みと
脱柵防止に向けた電気牧柵の電圧監視システム等の紹介
山口県農林総合技術センター畜産技術部 放牧環境研究室
研究員 藤田航平
 - (2) 放牧管理の省力化に向けた放牧牛の位置看視システムの紹介
農研機構西日本農業研究センター グループ長 渡辺也恭
山口県農林総合技術センター畜産技術部 放牧環境研究室
室長 秋友一郎
 - (3) 荒廃農地の再生に利用した新型フレールモア等の紹介
農研機構西日本農業研究センター 研究員 柿原秀俊
 - (4) 牧草作付け計画支援システムを活用した草地の生産予測に基づく利用計画
周年親子放牧導入標準作業手順書 (SOP)「山陰地方版」の紹介
農研機構西日本農業研究センター 上級研究員 堤 道生
 - (5) 開発中の技術紹介：放牧家畜の自動ゲートシステムの紹介
農研機構畜産研究部門 上級研究員 中村好徳
 - (6) 意見交換・総合討論
農研機構西日本農業研究センター 上級研究員 平野 清

- 4) 午前の部 閉会挨拶 (11:40~11:45)
農研機構西日本農業研究センター 所長 西田智子

午後の部：現地実演会 (web 配信無し)

- 1) 集合 (山口県農林総合技術センター 畜産技術部 駐車場) (13:45)
2) 移動 (駐車場から現地まで、約 15 分) (13:45~14:00)
3) 午後の部 開会挨拶 (14:00~14:05)
山口県農林総合技術センター畜産技術部 部長 國吉佐知子
4) スマート機器等・現場説明と実演 (14:05~15:35)
(1) 放牧看視の省力化技術
①電気牧柵の電圧監視システム等の紹介
山口県農林総合技術センター畜産技術部
放牧環境研究室長 秋友一郎
②放牧牛の位置看視システムの紹介
山口県農林総合技術センター畜産技術部 放牧環境研究室
研究員 藤田航平
農研機構西日本農業研究センター グループ長 渡辺也恭
(2) 新型フレールモア等の紹介
農研機構西日本農業研究センター 研究員 柿原秀俊
(3) 開発中の放牧家畜の自動ゲートシステムの紹介
農研機構畜産研究部門 上級研究員 中村好徳
4) 閉会挨拶 (15:35~15:40)
農林水産省 中国四国農政局 生産部 畜産課 課長 井上善行
5) 解散・移動 (現地から駐車場まで、約 15 分) (15:40~15:55)

7. 参加費 無料

8. 定員 100 名 (実参加者の定員。先着順。定員になり次第締め切ります。)

9. 申込方法

農研機構西日本農業研究センターのホームページ (<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/warc/>) のイベント・セミナーのお知らせから、参加申込フォームにより、または、所要事項を記載して、下記メール宛てに、5月9日(火曜日)までに事務局へお申込みください。

10. 申込先・問い合わせ先

農研機構 西日本農業研究センター 周年放牧研究領域 山口 学
電子メール：sanbe-symposium@ml.affrc.go.jp